

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	農道等整備事業					
予算上の事務事業名	農道等整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱 農とみどりの整備事業実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	農業振興地域整備計画（津久井町）		農業生産環境及び基盤と緑地としての保全を行うとともに、農業の担い手の育成・確保を図り、地域特性を生かした都市近郊型農業を推進する。			
計画年次	平成17年度	～	平成22年度			
4 事業形態の区分			建築・整備・重要物品購入	5 事業開始年度		平成11年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
農業生産基盤や農村生活環境基盤等の整備を図り、生産性の向上や適正な農業生産活動を図る。 森林ミュージアム事業の構想による展開を図ることで、地域農業の活性化を推進する。					受益面積 農振農用地2ha以上	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
県要綱の規定に基づき、農道整備を行なう。 補助率 事業費の50% 実施内容 韮尾根地区農道整備工事 工事延長=77.1m 幅員=4.0~4.7m 韮尾根地区農道整備工事測量委託 鮑子地区農道整備工事測量委託						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
県下全市町村で実施している。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	11,790	11,800	11,800	
一般財源	0	0	6,190	5,750	5,750	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	5,600	6,050	6,050	
人件費の合計	0	0	4,025	4,025	4,025	
事業コスト合計	0	0	15,815	15,825	15,825	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	韮尾根地区農道整備工事			対象名称 と単位	工事延長 m	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	15,815	15,825	15,825	
対象数	0	0	77	53	53	
単位あたり経費(円)	0	0	205,123	298,585	298,585	
前年度比		0.00	0.00	1.46	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備延長 m	指標式と指標の説明	実績延長÷整備目標（予定延長）×100＝整備率（％） 農道整備の達成率を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.1		
目標	0.0	0.0	50.0	53.0	53.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	154.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	年間整備目標 1箇所当り50m	指標式と指標の説明	（整備延長÷（目標延長×箇所））×100＝整備率を 上げることにより農業生産活動に貢献できる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.1		
目標	0.0	0.0	50.0	53.0	53.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	154.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		荒廃地を削減するために、農作業の機械化の推進を図る中で、農道を整備する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
整備後の農道の活用により農業の機械化を推進し、効率的な農作業の確保を図る。 また、今後の整備をより事業効率化を上げることができると見込める箇所を選定していくことで、事業効果は図れる。			農作業効率の向上を推進し農業経営の安定を図り、農業後継者の確保に努めることが重要である。 また、森林ミュージアム事業構想との連携を図りながら進める必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			